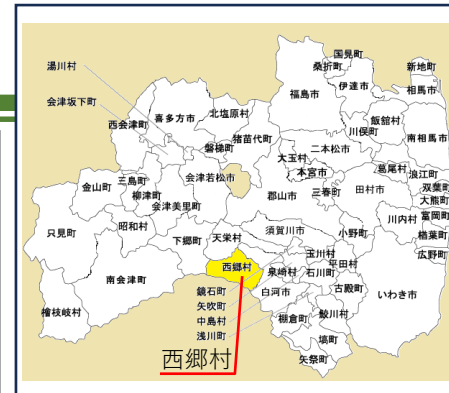


女性委員の状況

※ 委員は3年毎に改選。()は委員全体に占める女性委員の割合

委員の別	前回改選時 (R2.7時点)	現 行 (R5.7時点)
農業委員	1/12名 (8.3%)	3/12名 (25.0%)
農地利用最適化推進委員	4/14名 (28.6%)	3/16名 (18.8%)



女性登用の課題

- 兼業農家が多く、女性農業者数も多くない状況。

女性登用の取組

- 女性農業者が発信しているSNSを把握するなど農業委員会事務局がアンテナを高く張り、候補者に対して直接要請。
- 現役の女性委員による候補者への声かけ。
- 女性推進委員の農業委員への登用。

取組成果・登用効果

- 令和5年7月の改選時には、新たに女性農業委員2名(うち1名は推進委員から登用)及び女性推進委員1名を登用することができた。
- 女性農業委員・推進委員が増加したことにより、総会等において女性委員が積極的に発言するようになり、委員会の活動の活性化につながっている。
- また、相談者が農業委員会に対して相談しやすい雰囲気作りができています。

今後の展望

(女性登用割合の維持・向上のための取組)

- 女性委員全員参加の定期ミーティングを行い、何でも言い合える場や情報共有できる場を設けている。
- 女性委員が中心となって、新規就農者を増やすための情報提供や学生への農業教育を実施するなど、結果的に女性委員の裾野の拡大にもつながる活動を進めていきたい。
また、農業委員の地域訪問活動等における女性農業者との交流や、情報提供・相談活動を通じて、農業委員の活動内容等を理解してもらい、女性委員候補の掘り起こしにつながるよう取り組んでいく。
- 女性委員のスキルアップに努めるとともに、他自治体の女性委員との交流を深め、女性委員特有の課題の解決について話し合うなどにより、女性委員の定着につなげていく。
- 次回改選時には女性農業委員の割合を40%以上に向上させることが目標。

ミーティングの様子



地元中学生との交流の様子

